



四年生の復習

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

M5巻1-1-1

1 続く文を、ア〜ウから選んで()に書きましょう。

天気予報によると、今日は雨がふる。だから、(ウ)アカさを置いていく。イカさをわすれてきた。ウカさをわすれない。

公園に行こうか。それとも、(イ)ア川原に行きたい。イ川原に行こうか。ウ川原に行こう。

遠足の準備はできた。ところで、(ア)ア明日は晴れるかな。イ何を用意しようかな。ウ明日は遠足だ。

2 に合う漢字を()から選んで、文全部を書きましょう。

一日もはやくかぜをなおしたい。

早・速・直・治

一日も早くかぜを治したい。

梅雨があけて、プールびらきをする。

開・明・空

梅雨が明けて、プール開きをする。



3 の意味になるように、一か所に読点、を打ちましょう。

弟が急いでいるとき

「母は、急いで、出かけた。弟を、追いかけた。」

母が急いでいるとき

「母は、急いで、出かけた。弟を、追いかけた。」



なまえつけてよ

17-31

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

M5巻1-2-2

1 ()に合う言葉を□から選んで書きましょう。

しんぼうして、言葉を(ぐっと)飲みこむ。

子馬の鼻は(ほんのり)と温かく、しめっている。

妹は、(すっかり)安心してねむりに落ちる。

書き初め用紙に、(らんぼうな)ぐらいに元気のいい字がおどっている。

ほんのり らんぼうな はっと ぐっと すっかり



各10点

- 2 物語の読み方について、()に合う言葉を□から選んで書きましょう。
- 会話や(行動)から、その人の心情を想像して読む。
 - 心情の(変化)が表れている表現に着目して読む。
 - 登場人物どうしの(関わり)の変化をとらえて読む。

変化 題名 関わり 行動

3 「態度」という言葉を使って、短い文を作りましょう。

よく考えてから、その意見にさん成か反対かの態度を決めたい。

例文を少し書いて、またしてもうのよ。



各10点

1									
2									
3									



同じなの巻

名前 _____

ひらめきを育み出す力を育てます。



日あたり

大あたり

(ばち)あたり



人にまかす

言いまかす

(ちよろ)まかす



「あかぬける」の編

【意味】 姿形・色などが、すっきりして美しいこと。



「山菜だけでなく、人の場合もくせやどぎつぎが取れると洗練されたすきな人になる。そんな意味で「あの人は近あか抜けたね」なんて使った。」

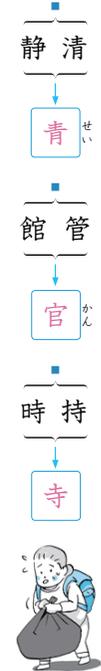
M5巻1-2

M5巻1-1

漢字の成り立ち

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 次の漢字に共通する「音」を表す部分を書きましよう。



2 表の空らんには合う、漢字の部分や読みを書きましよう。

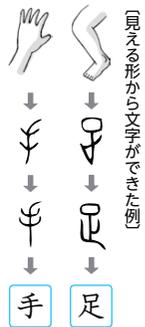
銅	時	草	意味を表す部分
金	日	艹	音を表す部分
同	寺	早	音の読み方
どう	じ	そう	



各10点

形からできた漢字の巻

「象形」って何？の編



3 次の成り立ちの漢字を、□から選んで()に書きましよう。

- 目に見える物の形を、そっくりにえがいたもの。【象形文字】(火) (木)
- 目に見えない事がらを、印や記号で表したもの。【指し文字】(末) (上)
- 漢字の意味を組み合わせたもの。【会意文字】(休) (林)
- 音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせたもの。【形声文字】(校) (想)

想 □ 木 □ 上 □ 林 □



各10点

主語・述語

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 次の文の主語を()に、述語を()に書きましよう。

- とれたてのトマトは、ほんとうにおいしい。 () ()
- 毎年、おじさんはトマトを上手に育てる。 () ()
- この夏には、ぼくも トマトを育てたい。 () ()



各5点

2 次の文の形を□から選んで、()に記号を書きましよう。

- この物語は、とてもおもしろい。 (イ)
- ある少年が、主人公です。 (ウ)
- その少年が、森を探検するのです。 (ア)

ア 何が(は) どうする。
イ 何が(は) なんだ。
ウ 何が(は) 何だ。
エ 何が(は) ある(いる)。

各10点

3 次の文の主語には――、述語には――を引きましよう。

- 作業している 牧場の おばさんが、わたしに 話しかけた。
- 転入生と 親しくなる きっかけは、なかなか なかった。
- 放課後の 時間が、いつもより ゆっくり 流れていく。
- 教室の まどからは、 昼休みの 校庭が 見える。

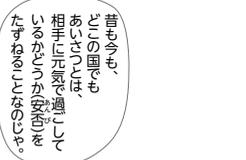


※完全 各10点

ひらめき道場

大人も分かっていないの巻

今日 わは !!どっちかな？の編



きいて、きいて、
きいてみよう

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 「質問する」という意味がある「きく」を、二つ選んで○をつけましょう。

- () お母さんの言うことをきく。
- () おまわりさんに道をきく。
- () 公園で、鳥の鳴き声をきく。
- () みんさんに、好きな給食をきく。



各10点

2 () に合う言葉を□から選んで書きましょう。

- 災害に備えて食料を (準備) する。
- 見学に行く工場の (下調べ) をする。
- 筆者の (意図) を読み取る。
- 合宿で、団体生活を (経験) する。
- 交代
- 準備
- 経験
- 下調べ



3 インタビューについて、文が完成するように、でつなぎましょう。

相手の質問の意図が分からないときは、

たずねるとき、事前に最もききたい事をはっきりさせておき、質問されたとき、きき手がインタビューするとき、相手の表情も有効な情報であり、

自分は何を語ってほしいのかを考えて話す。

たずね返したり、確かめたりする。

そこから、人がらや考え方をつかまえやすい。

話の流れにそって質問する。

各10点

見立てる
言葉の意味が分かること

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 次の文が表す内容を、□から選んで書きましょう。

- この事故の原因は、人の不注意にあります。
 - こんな場面に出会ったことがあります。
 - 果たしてそれが事実なのでしょうか。
 - 人は、そうは思わないのでないでしょうか。
- 断定 希望 事実
- おしはかる 疑問 事実



各10点

2 「かかえる」を、でつないで他の言葉におきかえましょう。

- 大きな荷物をかかえる。 養っている。
- 四人家族をかかえる。 せおっている。
- そつと赤ちゃんをかかえる。 持ち上げている。
- 重要な役割をかかえる。 包む。
- だく。



3 絵図を見て、() に合う言葉を□から選んで書きましょう。

「持つ」の言葉と動作の意味の関係は、(面) (線) (点) のつながりです。

しゃがむ

持つ

面 線 点

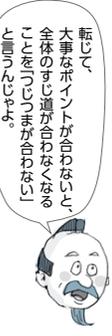
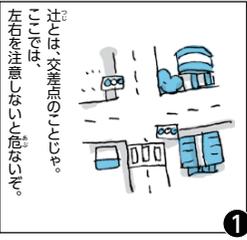
各10点

「話が長いんだ。」の編



「つじつまが合わない」の編

「意味」話のすじ道や、りくつが合わないこと。



接続語

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 言葉の働きを から選んで、記号で書きましょう。

- 早朝から雨がふり出した。さらに、風も強くなった。
- 朝、雨がはげしくふりました。だから、行事は中止になりました。
- 午前中はひどい雨でした。でも、今は晴天です。
- 今日は、はげしい雨だった。ところで、明日の天気はどうか。

各10点
ウ ア イ エ

2 () に合う言葉を から選んで書きましょう。

- 一生けん命に走った。(けれども)、一位は無理だった。
- 兄は球技が得意だ。(そのうえ)、泳ぎも上手だ。
- それは変だ。(なぜなら)、理由が明確でないからだ。

各10点
そのうえ けれども ところで なぜなら



ひらめき道場 同じなののに巻

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

絵に合う言葉を「かみ」に書くんだ。



かがみもち



やきもち



腰かける



願かける



追いかける



ちぎこまる



金こまる



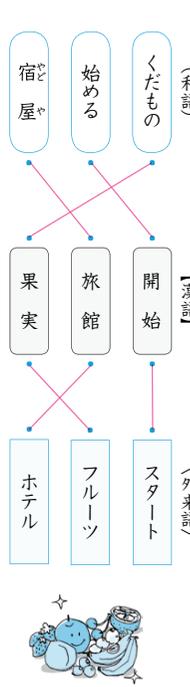
かしくこまる

絵に合う言葉を書きなさい。

和語・漢語・外来語

名前 () 年 組 番 () 月 日 () 点

1 似た意味を指す和語、漢語、外来語を でつなぎましょう。



2 を和語を使った表現に書き直しましょう。

放送委員会で、お昼の番組を決定します。 (伝えます)

3 和語と漢語の読み方について答えましょう。 (書きまます)

ア色紙 (いろがみ) しきし

イ草原 (くさはら) そうげん

ウ風車 (かざぐるま) ふうしゃ

エ年月 (としつき) ねんげつ



ひらめき道場 俳句を作ろうの巻

「感動を伝えるには」の編



文の組み立てに
気をつけよう

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 内容が同じ次の文で、強調されている言葉を書きましよう。

- 昨日、ここで大きな事故があった。 (昨日)
- 大きな事故が、昨日ここであった。 (大きな事故)
- ここで、大きな事故が昨日あった。 (ここで)

2 一か所に読点、を打ち、絵のような意味になる文にしましよう。



ア兄は妹とぼくを見送ってくれた。

イ兄は妹とぼくを見送ってくれた。

ウぼくはかさを持ち、兄と姉を駅へむかえに行った。

エぼくはかさを持ち、兄と姉を駅へむかえに行った。



3 に読点を一つ打ち、①「ねこが必死」の文と、②「ねずみが必死」の文を書きましよう。

ねこは必死にげるねずみを追いかける。

① ねこは必死に、にげるねずみを追いかける。

② ねこは、必死にげるねずみを追いかける。



大人の
分かっていないの巻

「々」は、何と読む？の編

1 お父さん、この字なんて読むの？

2 えーっと、なんて読むんだらう？

3 これは、少返しの記号で、読み方のない字。山々や人々や、よに読み方は変わって、クニヤン。

4 大人は「羅り字」なんて呼ぶーヤン。

「々」は漢字をくり返す場合に使う符号だよ。「民主主義」の「まじゅうしぎ」は熟語にまたがる漢字には使わないのが約束なんだ。

送りがないの使い方

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 正しい方に○をつけましよう。

- テレビ番組 () 数を数でえる。
- () テレビ番組 () 数を数える。
- () 晴間が出る。 () 風が弱まる。
- () 晴間が出る。 () 風が弱わまる。
- () 一人て考える。 () 一人て考がえる。
- () 一人て考える。 () 一人て考がえる。

2 次の動詞の打ち消す言い方を、「例」のように () に書きましよう。

もとの言葉の形	【例】働く	話す	読む
ふっつの言い方	働 () かない	話 () さない	読 () まない
ていねいな言い方	働 () きません	話 () しません	読 () みません

3 () に合う送りがないを書きましよう

- 覚える 新しい友だちの名前を覚 (え) ました。
- 覚ます 夜中に目が覚 (め) ました。
- 通う 今日から、習字教室に通 (い) ます。
- 通る その教室へ行くのに、この道を通 (り) ます。
- 治す 学校を休んで、かぜを治 (し) た。
- 治まる けがのいたみが、治 (ま) った。

大人の
へ、そうなんだの巻

「送りがない」は、ややこしいなああの編

1 送りがない、むずかしいなあ。太郎の得意な漢字は「へ」なんだ。

2 へ？

3 つなぐぞ、つなぐぞ。つなぐ方が、つなぐ方が、次につなぐていくんだろ。

4 太郎、まじで。変化球だ。変化を、変化するんだ。

大人もよくまちがえるんだ。

- 表す→あらわす
 - ①...あらわして
 - ②...あらわさない
 - ③...あらわせ
- 助ける→たすける
- ①...たすかる
 - ②...たすけない
 - ③...たすからない

- うつくしい
- 美しい
- 美しき
- 美しく
- たのしい
- 楽しい
- 楽しむ
- 楽しく
- しずかだ
- 静かだ
- 静かに
- 静かな

例外もあるんだ。「壁」を表す上のような言葉は、昔からの習慣で、「こう書くんたよ。」

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 言葉に合う熟語を、 から選んで書きましょう。

絶対の きかい をのがす。	機会
きかい、体そうの選手。	器械
交通きかんがみだれる。	機関
かせてきかんをいためる。	気管
こうせいな判断をする。	公正
文章のこうせいを考える。	構成



各5/30

2 文にあった熟語を () に書いて、文を完成させましょう。

マラソンを (**完走**) した選手に (**感想**) を聞く。

鉄道に強い (**関心**) を持っている友人に (**感心**) する。

昨日は、図書館は (**休館**) 日、新聞も (**休刊**) 日だった。

() に合う漢字を、 から選んで書きましょう。

時間を (**計る**) 。

重さを (**量る**) 。

測る 計る 量る

友人に力を (**貸す**) 。

国は、民に税金を (**課す**) 。

課す 貸す 科す



各5/30

「漢字、こんなにいるの。」の編

1 漢字は、漢文の文字の意味を季文字なんだよ。

2 漢字って、漢文で書かれてるものだから、漢文が読めないと、漢字も読めないよ。

3 漢字は、漢文の文字の意味を季文字なんだよ。

4 同じ道だと、かん違いしやすいです。例えば、シラタイも、出陣出火や、金舞舞って、ちやんと聞いて、いらないと出陣したの、海火器を持って、走り回すの。

5 先生、今日は、シラタイのシラタイは、やめて、ください。ん？う？分かるかい？

小学5校、一〇二六字の漢字を習ったって、本当なの？

そうらしいよ。漢字が悪いわけじゃないけれど、漢字テストは、感じ悪いなあ！

名前 _____ 年 _____ 組 _____ 番 _____ 月 _____ 日 _____ 点 _____

1 絵に合う言葉を から選んで、 () に書きましょう。

そつば をむく。

意地 を張る。

先手 を打つ。

先手 意地 そつば 文句

2 () に合う言葉を から選んで書きましょう。

日ごろは、やんちゃな弟だが、このころ (**元氣**) がない。

まどを開けて、ひんやりした (**外氣**) にふれる。

この大変な仕事をやりぬくには、 (**根氣**) がある。

注目された決勝戦は、試合前から (**熱氣**) を帯びていた。

短氣 元氣 外氣 熱氣 根氣

3 「いかにも」という言葉を使って、短い文を作りましょう。

弟は、新しい自転車を買ってもらって、いかにもうれしそうだった。

例文を少し直して、文にしよう。

あける

たしめ

言葉を選び、() に入れて、マンガを完成させるのね。

1 年に一度の夏休みだから、宿題をそつちのけて...

ぼくは、 (**図**) によって遊んでばかりいた。

2 ある日、母は見るに見かねて (**釘**) をさした。

宿題は、たまると大変よ。

3 夏休み終わりになって、ぼくはあわてた。

さすがのぼくも (**おしり**) に火がついた。

4 しまいに (**バカモン!**) 父の (**雷**) が落ちた。

顔 おしり しつぽ

ばつ 雷 あらし

名前 () 年 組 番 () 月 日 点

1 続く言葉を、——でつなぎましょう。

- 村は台風のひ害に なげく。
- あの声に心当たりが かなう。
- 不明だった身元が うちのめされた。
- ある ある。
- やっと長年の願いが 分かる。



各10点

2 () に合う言葉を、□から選んで書きましょう。

- 明け方に降った初雪は、午後には () **あとかたもなく** 消えた。
- あまりにも悲しい物語に、 () **とめどもなく** なみだが流れる。
- 転校する山田君を駅で見送り、 () **せつない** 気持ちになる。
- とめどもなく しかたなく あとかたもなく せつない

3 () に合う言葉を、□から選んで書きましょう。

この野球チームはみんな熱心だ。秋まで**くは**投手をしていた。今は、**けが**をして () **名前でしかない** 部員だ。仲間だった林君は、最近**転校**して () **名前さえない** 部員になってしまった。しかし、この四月に、チームに () **新しい名前の** 部員が四名加わった。



各10点

新しい名前の 名前さえない 名前でしかない

熟語の知識 和語漢語

名前 () 年 組 番 () 月 日 点

1 言葉の意味と合うものを、——でつなぎましょう。

- 七人以上 七、八、九、十、……と続く。
- 七人未満 七、六、五、四、……と続く。
- 七人以下 六、五、四、三、……と続く。



各10点

2 の読み方を () に書きましょう。また、「和語」にはアを、「漢語」にはイを () に書きましょう。

出初め式を見物する。 () **けんぶつ**

この決勝戦は見物だ。 () **みもの**

大木を**根本**から切りたおす。 () **ねもと**

ひなん計画を**根本**から見直す。 () **こんぼん**

水中にすむ生物を観察する。 () **せいぶつ**

おいしいが、生物はいたみやすい。 () **なまもの**

() **アイ** () **アイ** () **アイ** () **アイ**



各50点

3 ——を漢語に直します。□から選んで、熟語を書きましょう。

集団生活には、決まりが必要です。 () **規則**

まとまりのある人や物の集まり。 () **組織**

() **規則** () **組織** () **結束** () **知識**

() **アイ** () **アイ** () **アイ** () **アイ**



各50点

大人も分かっていないの巻

「いいです。」は、危ない。



危ない言葉があるなんて本当なの？



「いいです。」が、イエスの意味にも受けとれることを悪用して、インチキ商品を売りつけたりする。お客様が注文してない。「いいです。」お返事を待たないでいる。あーまじ言葉の「いいです。」は危ないから、使わないほうがいいですよ。



偉人の言葉の巻

「孔子の教え」の編

